



コンポーネントの取り付けと取り外し



警告 システムの稼働中は、バックプレーンに高電圧が流れています。作業を行うときは注意してください。ステートメント 1034



注意 作業中は、スイッチの静電破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。

- [電源装置の取り付け \(1 ページ\)](#)
- [電源装置の取り外し \(2 ページ\)](#)
- [ファンモジュールの取り付けと取り外し \(3 ページ\)](#)
- [ファンモジュールの取り付け \(3 ページ\)](#)
- [ファンモジュールの取り外し \(4 ページ\)](#)

電源装置の取り付け

電源モジュールを取り付ける手順は、次のとおりです。

始める前に

- n+n 冗長性を実装するには、各 PSU を個別の電源グリッドに接続する必要があります。それ以外の場合、必要な電源グリッドは 1 つだけです。
- 交換用モジュールを取り付けるシャーシへのアース接続が存在する必要があります。通常、シャーシはアースされたラックとの金属間接続によってアースされます。シャーシをアースする必要がある場合は、[スイッチのアース接続](#)を参照してください。

ステップ 1 片手で電源装置を下から支え、もう一方の手でハンドルを持ち、電源装置のリリースラッチが右側になるように回し、その電源後部（電気接続のある端）を開いている電源スロットに合わせます。

電源装置をスロット上で慎重にスライドさせ、所定の位置に収まった手応えがあるまで移動させます。

(注) 電源装置がスロットの開口部に収まらない場合は、ユニットを裏返してもう一度試してください。

ステップ 2 リリースラッチを使用せずに電源モジュールをスロットから引き出すようにして取り付け具合を確認します。

電源モジュールが動かなければ、スロットに確実に固定されています。電源モジュールが動く場合は、慎重に、カチッと音がするまでスロットに完全に押し込みます。

ステップ 3 電源モジュール前面の電源コンセントに電源ケーブルを接続します。

電源コードのもう一方の端が電源モジュールに適した電源に接続されていることを確認します。電源にスイッチがある場合は、[オン (ON)] の位置にセットします。

ステップ 4 電源モジュールの LED が緑色になっていることを確認して、電源モジュールが動作可能であることを確認します。電源モジュールの LED が示す内容については、[スイッチ LED](#) を参照してください。

電源装置の取り外し

一方の電源モジュールがスイッチに十分な電力を供給している間にもう一方の電源モジュールを取り外すことができます。電源モジュールを取り外すには、以下の手順に従います。

ステップ 1 AC および HVAC 電源の場合、電源にオフに設定されているスイッチがある場合は、PSU スイッチをオフに設定します。電源コードのプラグをつかみ、PSU の電源レセプタクルから引き出します。

ステップ 2 電源ケーブルのプラグを持ちながら、AC PSU の電源コンセントからプラグを引き抜き、電源 LED が両方ともオフになっていることを確認します。

(注) 高電圧電源から Anderson の Saf-D-Grid 電源ケーブル コネクタを取り外す必要がある場合は、コネクタの上部にあるタブを押し、電源からコネクタを引き出します。

ステップ 3 電源モジュールのハンドルを掴んでリリースラッチを電源モジュールのハンドルの方向に押します。

ステップ 4 シャーシから引き出す際、もう一方の手で下から電源モジュールを支えます。

注意 モジュール背面の電気コネクタに触れないようにし、他の何かが接触してコネクタが損傷しないようにします。

(注) 1つのシャーシ内の2つの PSU は、通気方向と電源タイプの両方で同じである必要があります。新しく挿入された PUS がシャーシで現在動作している PSU と異なる場合、新しく挿入された互換性のない PSU は、システムの長期的な安定性のために無効になります。

- (注) PSUを取り外した状態でスイッチを数分以上動作させる必要がある場合は、PSUブランクプレートを取り付けます。これにより、シャーシ内の適切なエアフローと温度が確保されます。

ファンモジュールの取り付けと取り外し

このセクションでは、Cisco MDS 9396V スイッチのファンモジュールの取り付けと取り外しの手順について説明します。3つのファンモジュールの1つを交換する場合、5分以内であれば、スイッチを稼働させたまま古いファンモジュールを外してしまい、新しいものと交換することができます。5分以内に交換できない場合は、交換用ファンモジュールを手元に用意して交換作業ができるまで、元のファンモジュールをシャーシに置いたままにして、設計どおりのエアフローを確保してください。



- 注意** 動作中にモジュールを交換する場合は、交換用ファンモジュールのエアフロー方向が正しい、つまりシャーシ内の他のファンと同じエアフロー方向であることを確認してください。また、エアフロー方向がコールドアイルから吸気し、ホットアイルへ排気することを確認します。そうでない場合、スイッチが過熱しシャットダウンする場合があります。

シャーシ内のモジュールすべてのエアフロー方向を変更する場合は、スイッチをシャットダウンしてから、すべてのファンおよび電源モジュールを他のエアフロー方向を使用するモジュールに交換する必要があります。動作中はすべてのモジュールでエアフロー方向が同じである必要があります。



- (注) ファンモジュールは、エアフローの方向を示す色分けされています。交換用ファンモジュールがシャーシ内の残りのファンモジュールと同じ色であることを確認します。

ファンモジュールの取り付け

新しいファンモジュールを取り付けるには、次の手順に従います。

始める前に

- ファンスロットの1つは空いていて、新しいファンモジュールを取り付けられるようにしておく必要があります。
- スイッチが稼働中は、新しいファンモジュールを手元に用意して元のファンモジュールを取り外してから5分以内に取り付けるようにする必要があります。

- 新しいファンモジュールは、スイッチに取り付けられている他のファンおよび電源モジュールと同じエアフロー方向になっている必要があります。これらすべてのモジュールは赤色のカラーリング（ポート側吸気エアフロー）または青色のカラーリング（ポート側排気エアフロー）になっている必要があります。

-
- ステップ1** ファンモジュールをファンモジュールベイにスライドします。
- ステップ2** 色付きのタブを2本の指でつまんで、ファンモジュールのタブを押して完全に挿入します。
- ステップ3** ステータスLEDが点灯し、緑になることを確認します。
-

ファンモジュールの取り外し

ファンモジュールは、システムの動作中に取り外しや交換を行っても、電気事故が発生したりシステムが損傷したりすることがないように設計されています。



- 注意** Cisco MDS 9000 ファミリには、シャーシ内の別の地点で温度が特定の安全しきい値を超えた場合に、システムをシャットダウンできる内部温度センサーが搭載されています。システム温度を正確に監視するため、温度センサーは、十分なエアフローがシャーシを通過することを必要とします。ファンモジュールがシャーシから取り外され、エアフローが低下した場合、検出されない過熱を防ぐために、システムは他の2つのファントレイの速度をただちにフルスピードに上げます。ただし、高レベルの温度しきい値を超えると、スイッチはすぐにシャットダウンします。
-



- (注)** ファンモジュールを取り外すときに、回転しているファンの羽根に手を近づけないでください。ファンブレードが完全に停止してからファンモジュールを取り外してください。ステートメント 258
-

既存のファンモジュールを取り外す手順は、次のとおりです。

- ステップ1** スwitchの背面にあるファンモジュールの位置を確認します。
- ステップ2** 色付きのタブを2本の指でピンチします。
- ステップ3** ファンモジュールのハンドルを持ち、外に引き出します。
- ステップ4** ファンブレードの回転が停止したら、ファンモジュールをファンベイから完全に取り外します。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。